



池 過 濾 道 水 江 松



「創設時の忌部浄水場」

満水位標高:40.26m

松江市の水道は、大正2年に給水人口5万人、一日最大給水量6,300 m^3 で事業認可を得、大正3年11月に事業に着工した。

計画は、「忌部川の山に相接する溪間を締切り、堤防を築き、貯水池を設け、その山中及び付近に於ける溪谷の水を集め、これより鉄管を以て自然流行により濾水池、配水池を過ぎ市内に配水するものとす」と概要に記されている。

また、忌部浄水場は、「自然濾過法により濾過層を通過して地底の溝渠を通し、鉄管にて浄水井に達す」と記されている。

濾水池の有効面積は、6,503平方尺（597 m^2 ）、3池を使用して一昼夜10尺（3.03m）の速度を以て195,117立方尺（5,430 m^3 ）の水量を濾過する能力を有した。